

連載 第8回

教師としての視野を広げる! 世界の日本人学校 マンスリーレポート

グローバルな現代社会。教室には、海外につながる子供たちも少なくありません!
教師としての国際感覚を磨くため、海外の日本人学校の様子を毎月レポートします。

在外教育施設について

海外で日本の教育を受けることのできる教育施設で、「日本人学校」「補習授業校」等があります。現在、保護者の勤務の都合等で海外に滞在している日本の子どもたちは約8万3000人。このうち、約4万1000人が在外教育施設で学んでいます。

鈴木 ひかり(すずきひかり)

2017年～2019年アグアスカリエンテス日本人学校にて学校採用教員として勤務。小学部を担当。



1 赴任したきっかけを教えてください

海外で働くことに興味があり、日本人学校に勤務してみたいという漠然とした願いがありました。日本とは環境が異なる中で過ごす子どもたちのために、何か自分にできることはないか。その思いから、海外子女教育振興財団が行っている説明会に参加しました。その際に、本校を退任された学校採用教員の先生に出会い、学校の素晴らしさやメキシコの魅力を感じ、本校の募集に応募する決め手となりました。



folklorico。メキシコの伝統舞踊を運動会の表現で踊ります。

2 学校の概要を教えてください

アグアスカリエンテス日本人学校は、現在小中学部合わせて97名の児童生徒が在籍しています。すべての学年が単学級で人数も多くはないので、小学部1～3年生の低学年部、小学部4～6年生の高学年部、中学部1～3年生の中学部に分かれ、学年部単位での朝会や行事を行うこともあります。子どもたちは素直で思いやりがあり、学年の垣根を越えて、まるで一つの家族のように仲良くすごしています。



学年朝会。行事に向けた取り組み、いじめ防止のためのアクティビティなどを行っています。

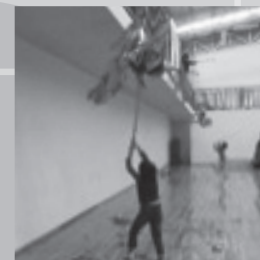


海外で働く 学校採用教員Q&A

- Q17 日本人学校ではどのような教科を教えてくださいか?
- A17 学習指導要領に沿ったカリキュラムで日本の小中学校と同様に全教科の授業を行っています。さらに海外の特徴として多くの学校で小学部低学年から現地語や英会話の授業も行っています。学校規模によっては複数教科を担当することもあり、週20～25コマ程度を担当する方が多いです。教科とは別に担任を持つこともあります。
- Q18 補習授業校ではどのような教科を教えてくださいか?
- A18 平日の午後や土曜の週1～2日程度を使い、国語や算数・数学等を中心とした授業を行っています。学校によって様々ですが、ある学校では週2回開校しており、各4時間、計8時間の授業を担当しています。

3 この国の学校ならではの！という特徴は何ですか？

本校に隣接して現地の学校があるため、年に4回程度、学校を行き来しながら交流をしています。内容は「食」「遊び」「音楽」「スポーツ」などから1年間同じテーマを通して、日本の文化を教えたり、メキシコの文化を知ったりする活動を行っています。学習発表会では隣接校との交流合唱も行い、メキシコの友達と一緒に、日本語、スペイン語、英語など様々な言葉を使いながら合唱を楽しんでいます。また、餅つき会など、日本やメキシコの文化を経験する行事もあります。特にメキシコのお盆「死者の日」には学校も華やかに飾りつけされ、思いおmoiの仮装をしながら毎年大変盛り上がりします。



ピニャータ割り。紙で作られた型枠の中にキャンディなどのお菓子をを入れ、それを上から吊して棒で叩いて割ります。

4 学校で勤務した感想を教えてください

日本とは環境が異なるため、日本的な季節を実感としてとらえることが難しいことや日本のように校外学習に向かうことが難しいことなど、指導をする中で苦労することもあります。しかし、それは逆に教師としてのやりがいであるとも感じています。どうしたら子どもたちに身に付けさせたい力へとつながっていくのかを考え、工夫を凝らしていくことで、教材研究がさらに面白くなっていきます。また、本校は小学部と中学部が併設されているため、中学部の授業を参観させていただいたり、中学部の先生方からご指導をいただいたりする中で、各教科の専門的な指導内容や指導方法について学ぶことができ、たいへん良い経験となりました。



校舎・校庭。桜が植わっています。メキシコの気候で、1月には満開になります。

5 教え子が帰国したとき、日本の先生方に伝えたい伝達事項は何ですか？

日本人学校には、全国の様々な場所から子どもたちが集まってきます。たくさんの場所から来た人たちと触れ合うため、習慣や言葉などに違いがあっても自然と打ち解けられる力をもっています。日本人学校の子供たちは、外国の文化を自分のものとして体得しているか、外国語が堪能かなどは、個人によってかなり差があると思います。外国に暮らしていますが、普段は日本と同じような学校生活を送っています。そのため、「外国から来た子」という特別な扱いではなく、他の学校から来た「転校生」としてどの子どもと変わらない対応をしていただけたらと思います。素直で思いやりのある子どもたちなので、きっとどの場所でも自分らしく力を発揮できるのではないかと思います。



全校レク。全校児童生徒と一緒にだるまさんが転んだや鬼ごっこをして遊びます。学校のヒーロー、アグアスマンも登場します。